

【特集】平成16年度 新卒者の採用予定及び初任給調査結果

採用予定なし60.1%

4年連続で 「採用予定あり」を上回る

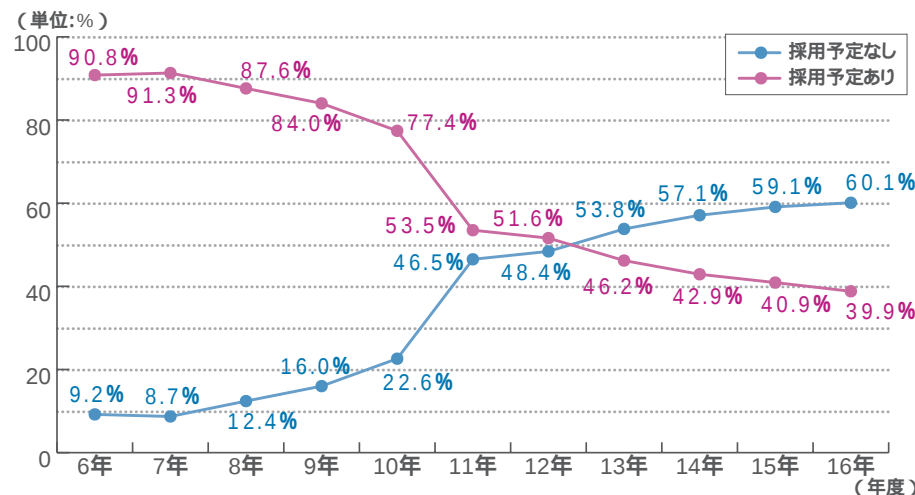
当センターでは、今春の新卒者の採用予定状況及び初任給についての調査を実施した。その結果、「採用予定なし」が60.1%（過去最高）、「採用予定あり」が39.9%となり、4年連続「採用予定なし」が「採用予定あり」を上回った。

また、新卒者の初任給見込み額は、「短大・高専・専門学校卒」と「高校卒」が前年を上回り、「大学卒」が前年を下回った。

調査について	対象企業	1,243企業
	調査時点	平成16年1月1日現在
	有効回答数	421企業
	有効回答率	33.9%
	有効回答企業のうち 初任給額の回答企業数	168企業

新卒者の採用状況

企業における新卒者の採用状況をみると、「採用予定なし」が60.1%（前年調査59.1%）、「採用予定あり」が39.9%（同40.9%）となっており、4年連続「採用予定なし」が「採用予定あり」を上回る結果となった。



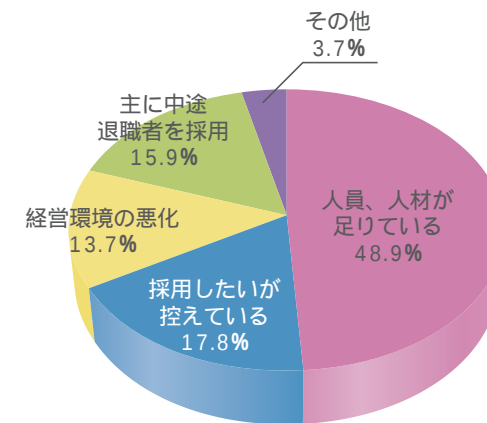
新卒者の業種別採用状況

業種別に採用状況をみると、すべての業種で「採用予定なし」が「採用予定あり」を上回っており、「鉱業・建設業」「卸売業」「運輸業」では7割以上の企業が「採用予定なし」となっている。また、「採用予定あり」の企業のうち89.9%が「概ね計画どおり採用できる」としている。

業種	項目		
	採用予定なし	採用予定あり	概ね計画通り採用できる
全業種	60.1	39.9	89.9
鉱業・建設業	73.7	26.3	90.0
製造業	51.4	48.6	91.4
卸売業	72.7	27.3	88.9
小売業	52.4	47.6	90.0
運輸業	78.6	21.4	66.7
サービス業	50.9	49.1	88.5

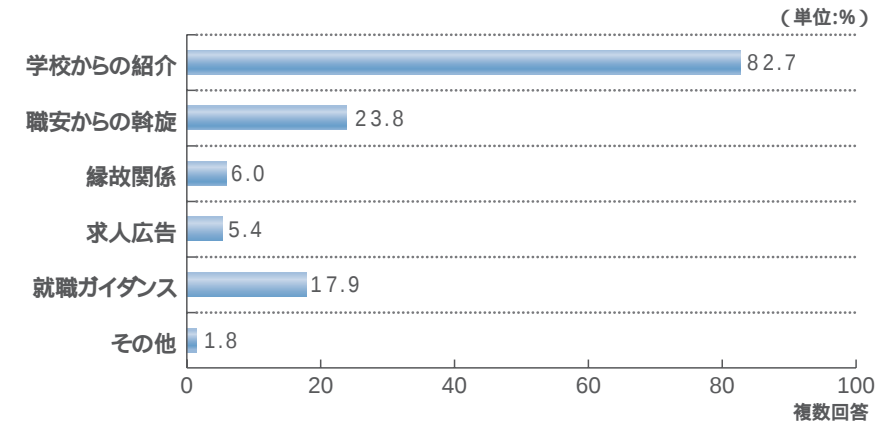
採用予定なしの理由

「採用予定なし」の理由をみると、「人員、人材が足りている」が48.9%と最も多く、以下「採用したいが控えている」17.8%、「主に中途退職者を採用」15.9%の順となっている。



新卒者の採用方法

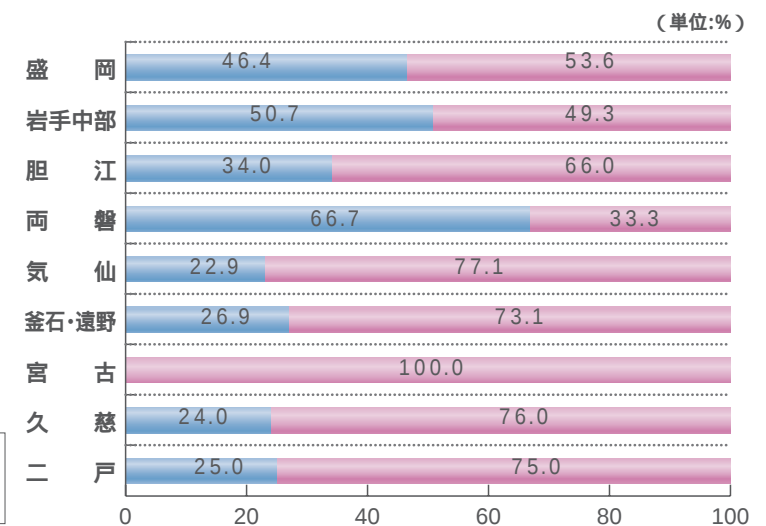
新卒者の採用方法をみると、「学校からの紹介」が82.7%と最も多く、以下「職安からの斡旋」23.8%、「就職ガイダンス」17.9%、「縁故関係」6.0%、「求人広告」5.4%の順となっている。



広域生活圏別採用予定状況

広域生活圏別に採用予定状況をみると、「採用予定あり」が「採用予定なし」を上回ったのは両磐（「採用予定あり」66.7%、「採用予定なし」33.3%）と岩手中部（「採用予定あり」50.7%、「採用予定なし」49.3%）の2地域である。

「採用予定なし」とする割合では、宮古が100%、気仙77.1%、久慈76.0%、二戸75.0%、釜石・遠野73.1%と沿岸・県北部で多くなっている。



学歴別初任給見込額

初任給見込額（平成16年4月）を学歴別にみると、「短大・高専・専門学校卒」が2,433円（前年比1.6%増）増加、「高校卒」359円（同0.3%増）増加となっており、「大学卒」が1,186円（同0.7%減）減少となっている。

		（単位：円、%）		
増減	金額	大学卒	短大・高専・専門学校卒	高校卒
	伸び率	-1,186	2,433	359
		-0.7	1.6	0.3

業種別初任給見込額

初任給見込額(平成16年4月)を業種別にみると、大学卒では「運輸・サービス業」が181,600円と最も高く、次いで「卸売・小売業」が175,172円。短大・高専・専門学校卒では、「製造業」が155,810円と最も高く、次いで「卸売・小売業」が152,054円。高校卒では、「鉱業・建設業」が146,104円と最も高く、次いで「製造業」138,052円となっている。



		(単位:円)			
学歴	職種	鉱業・建設業	製造業	卸売・小売業	運輸・サービス業
大学卒	技術	X	172,957	X	185,750
	事務	—	173,807	—	—
	営業	X	162,220	174,273	165,000
	平均	173,820	170,733	175,172	181,600
短大・高専・専門学校卒	技術	152,000	155,863	149,175	149,880
	事務	X	X	146,750	X
	営業	X	—	159,837	—
	平均	147,000	155,810	152,054	149,115
高校卒	技術	146,104	138,016	142,685	143,008
	事務	—	X	137,233	—
	営業	—	—	135,129	128,936
	平均	146,104	138,052	136,852	136,259

Xはサンプル数少数のため秘匿扱い。—はサンプルなし。

従業員規模別初任給見込額

初任給見込額(平成16年4月)を従業員規模別にみると、大学卒では「30人未満」が200,143円で最も高く、次いで「50～99人」が176,947円となっている。短大・高専・専門学校卒では、「50～99人」が156,492円で最も高く、次いで「300人以上」が155,945円。高校卒では、「300人以上」が145,259円で最も高く、次いで「30～49人」が140,905円となっている。



(単位:円)

学歴	前年比較		30人未満	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上
大学卒	16年 4月		200,143	—	176,947	170,972	170,801
	15年 4月		172,500	X	187,375	174,052	169,942
	増減	金額	27,643	X	-10,428	-3,080	859
		伸び率	16.0%	X	-5.6%	-1.8%	0.5%
短大・高専・専門学校卒	16年 4月		145,231	153,143	156,492	147,595	155,945
	15年 4月		138,333	147,286	155,123	148,662	148,545
	増減	金額	6,898	5,857	1,369	-1,067	7,400
		伸び率	5.0%	4.0%	0.9%	-0.7%	5.0%
高校卒	16年 4月		137,790	140,905	137,880	134,070	145,259
	15年 4月		139,831	145,440	138,825	131,395	141,140
	増減	金額	-2,041	-4,535	-945	2,675	4,119
		伸び率	-1.5%	-3.1%	-0.7%	2.0%	2.9%

Xはサンプル数少数のため秘匿扱い。—はサンプルなし。

広域生活圏別初任給見込額

初任給見込額(平成16年4月)を広域生活圏別にみると、最も高いのは大学卒では「胆江」で181,429円、短大・高専・専門学校卒では「岩手中部」で156,115円、高校卒では「岩手中部」で144,717円となっている。

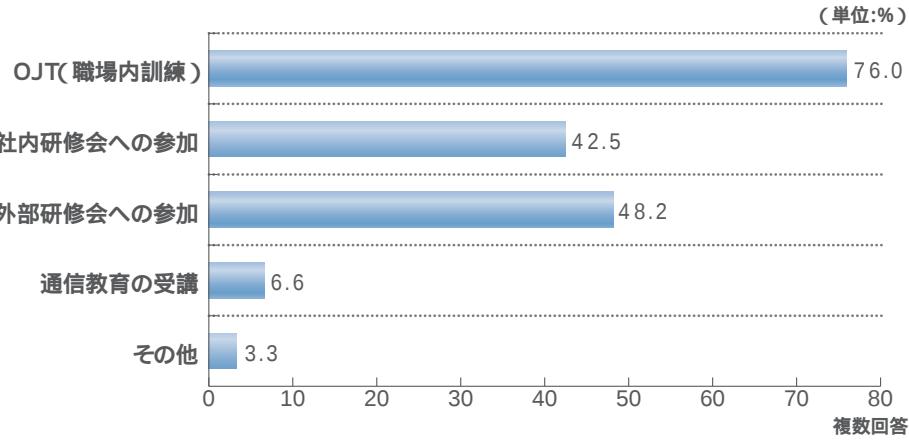
(単位:円)

地域	大学卒	短大・高専・専門学校卒	高校卒
盛岡	175,964(173,852)	151,942(149,164)	136,336(135,727)
岩手中部	175,126(178,103)	156,115(155,556)	144,717(142,921)
胆江	181,429(X)	150,526(X)	140,703(139,053)
両磐	X(160,467)	149,921(148,813)	136,945(139,672)
気仙	X(X)	X(X)	136,304(136,716)
釜石・遠野	X(X)	X(—)	136,864(137,120)
宮古	(—)	(—)	(—)
久慈	X(X)	X(X)	129,990(134,200)
二戸	X(X)	X(X)	126,815(125,000)

Xはサンプル数少数のため秘匿扱い。—はサンプルなし。
()は前年実績

人材育成方法

人材の育成方法についてみると、「OJT(職場内訓練)」が76.0%と最も多く、以下「外部研修会への参加」が48.2%、「社内研修会への参加」42.5%、「通信教育の受講」6.6%となっている。



新卒者採用などに関する主なご意見

- 企業業績が悪化しているが、17年度も新卒者採用を継続していきたいと思っている。本年度より、大学卒業者も採用していく事となり1名採用した。来年度も継続していきたい。
- 経営環境は相変わらず厳しい状況であるが、事業の拡大に伴い質的・量的人材確保は課題となっている。定期採用(正社員)以外の労働市場に対するフォロー(マッチング)を促進する機会を、多く作っていただきたい。
- 就業意識の低い学生が多過ぎる。
- 短期間で社員のレベルアップをしないと、売上に対する人件費が高く、社員教育の大切さを強く感じている。
- 1人当りの生産性が問われる中で若手への切替をしていかないと、平均年齢が高くなるばかり。ここ2～3年で将来を考えての採用をしていく。
- 不景気のおり、専門学生や高校卒の大変優秀な人達を学校より紹介いただくのは良いのですが、多種多面で、指導や教育をして一人前にしようとする途中に、あきらめて退職をする人が多い為非常につらくなる事がある。
- 現在の経済状況、不況下においては積極的な拡大路線はどうしても採れない。収支分岐点から人員を何名にするか先ず考えざるを得ない。緊縮ながらの健全経営を目指さざるを得ない。



お問い合わせ先 情報研修課 TEL 019-621-5389 FAX 019-621-5480
URL <http://www.joho-iwate.or.jp/sangyo/> E-mail joho@joho-iwate.or.jp